



雨でしたが、終業式で約束した通り、元気にあいさつして子ども達が登校してきました。いよいよ、2学期が始まります。(今日から転入生があって児童は240名になりました)

コロナ対策をしながら、2学期の活動は「何とか進められないか」と苦心しています

岩手県の緊急事態宣言が出されました。宣言期間内の、不要不急の遠出を避けることや、夏休み中の部活動の休止が求められました。また、校外活動については、外部との接触がある内容について見直すことが求められています。今後の教育活動については、町教育員会のアドバイスも受けながら、**慎重にそして、冷静に**分析・検討をしていきます。

宣言では、夏休み明けの学校の教育活動について止めることは求めておらず

- ・ 3密を回避するなどの感染予防対策を十分にとって活動を行うこと
- ・ 外部との接触がある内容については慎重に検討すること

※この場合の「外部」とは県外や県内でも感染多発地域であり、「接触」とは、一定の時間を一緒に過ごすなどをさすととらえます

の範囲内で、町教育委員会とも相談しながら活動の実施を考えることにしています。

参観日は

当面の活動について (今後の感染拡大にもよりますが)

陸上記録会は

9月初旬に予定されている授業参観は、保護者は宣言で言う「外部」とは見るものではなく、しかも、2回に分けて参観人数を減らしているため、予定通り実施することになっています。ただし、検温など、体調の確認をいただいたうえで、来校をお願いします。

中学校の部活動の合同練習や練習試合について、久慈・二戸地域内で認められていることに準じて陸上記録会についても、屋外の活動であることに加え、町内の児童が集まっての記録会であることから、実施する方向で進んでいます。

見学学習は

校外に出ますが、見学施設の感染予防対策を確認したうえで実施したいと考えています。

「森は巡る」(町の植林体験行事)

町内の学校が集まる町の行事ですが(本校は5年生が参加)、実施する予定でいるそうです。

野外活動は(5年生)

行き先は種差少年自然の家で県外(八戸市)ですが、

- ・ 同じ生活圏内で往来していること
- ・ 「自然の家」が感染予防対策を徹底し、施設の開館が続いていること
(宿泊部屋の人数を半分に、食事の座席の工夫・他校との時間差利用、施設の消毒など)
- ・ 屋外での活動で、しかも学校ごと単独の活動であり、「外部との接触」にあたる活動がないこと
- ・ 同日利用は小規模校で利用者が少ないこと
- ・ 八戸で感染者があるものの、感染経路がはっきりしていて、影響が考えにくいこと

などにより、何とか予定通り実施できないかと苦心している状況です。貴重な学習・体験であることから、何とか子ども達を連れて行きたいと考えます。それぞれのおうちでは心配もおありと思いますので、**金曜日までには、再度、感染予防対策の徹底を確認・検討しておうちの方々にお知らせします。**

2学期は、さらに付け加えて 「あいさつ」「そうじ」「ボランティア」

1学期の終業式では子ども達に、「みなさんは、『自分達で考えたり行動したりすること』をがんばりました」という話をしました。そして、そのがんばりは、もっと広げることにはできないか、まだ足りないものはないか、という話もしました。たくさんのがんばりがあった半面、「ものを大事にしないことはなかったか」、「少くくはよいだろうとルールを破ったことはなかったか」、「やるべきことをやらないでしまったことはなかったか」などという反省もしました。ですから、2学期も、『自分達で考え行動すること』を続けてがんばることにしました。「自分で考え行動すること」は、「何が本当に正しいか考え、正しいことをやり通す」ということですから、自分の心を鍛えることにもなります。

そのうえで、さらにがんばってほしいことを始業式で付け加えました。(※始業式は、「短時間」、「校歌斉唱なし」で子ども達の距離をとって行いました。)

2学期、さらに、がんばってほしいことがあります。それは三つあります。「あいさつ」と「そうじ」と「ボランティア」です。

「あいさつ」は人に対する礼儀です。また、あいさつは、した人もされた人も、「やさしい気持ち」になりますから、人と人がなかよく暮らすために大切なものでもあります。

「そうじ」は、校舎を大事にすることです。また、進んで働こうとする気持ちを持ってほしいですし、掃除のやり残しや汚れたままのところをそのままにしてほっておけないという気持ちをもってほしいのです。

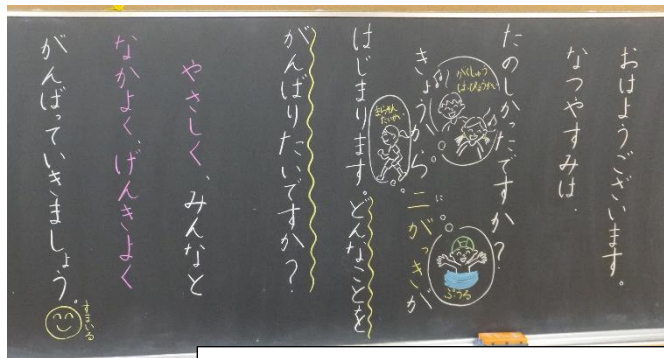
「ボランティア」は、友だちのため、世の中のために役立つことをすることです。人に対するやさしさです。自分にもできることはないか、見つけることから始めましょう。そして、誰かのためになんかすることがいっぱいになったら、この種市小学校は、さらによい学校になります。

「あいさつ」・「そうじ」・「ボランティア」をがんばれば、みなさんの心も磨かれることでしょう。そして、よりよい自分になることができます。

2学期は、これまで通り、『自分達で考え行動すること』を続けてがんばることに加えて、『あいさつ』『そうじ』『ボランティア』をがんばりましょう。そして、心を鍛え、心を磨き、よりよい自分に、そして、よりよい種市小学校になるようになんか頑張ってきましょう。

子ども達を迎える

始業式前日の17日(火)、各教室では、先生方が、教室中を拭き掃除をし、机を並べていました。湿気が強く、カビが生えていないか確認し、休み中にたまったホコリもとって、子ども達を迎える準備です。



机が整然と並べられた教室の黒板には、子ども達を迎える言葉が書かれました。

ようこそ、 山田幸子先生 ~よろしくお願ひします~

「スクールサポートスタッフ」と言って、これまで先生方が行ってきたコロナ対策である校舎内の消毒作業などの作業を手伝ってくださる先生として、山田幸子先生が着任されました。

子ども達は、いろいろな方のお世話になって学習・生活しています。ありがたいことです。

